

奥能登公立 4 病院機能強化検討会
部門別分科会（新病院のコンセプト） 議事要旨

- 1 日 時 令和 8 年 6 月 26 日（金）15～17 時（非公開）
- 2 場 所 穴水町役場（3 階大ホール）＋Teams（ハイブリッド開催）
- 3 出席者 別紙 1のとおり（※現在 4 病院に勤務する若手・中堅職員も出席）
- 4 議事要旨

- (1) 奥能登新病院のコンセプト等について、事務局から別紙 2（議論の素案）を提示・説明し、意見交換を行った。

（主な意見）

＜コンセプト＞

- ・「明るい希望を与える病院としたい」旨のメッセージがあることで、新病院に対して前向きな気持ちになることができる。
- ・医療従事者側からだけでなく、例えば、病院周辺で買い物や食事ができるなど、住民からも魅力と感じてもらえるような視点を盛り込む必要があるのではないか。
- ・能登半島地震の経験を教訓に、域外から被災者を受入できるようにするなど、災害に強い病院という点も盛り込んではどうか。
- ・医療人材の確保が課題であり、現在 4 病院で働いている人も、外部から来る人も、住居の確保などを含めて、安心して働けるようにすることが重要。また、若い人などが働きたいと思える病院となるよう、様々な工夫が必要。
- ・奥能登地域には医療 D X が不可欠であり、遠隔地の専門医からのリハビリの指示など、オンライン診療以外での取組も期待できる。
- ・メディカルテーマパークのように、楽しく続けられる治療やリハビリ、健康イベントなどを通じて、病院へのマイナスイメージ（病気・怪我、恐怖心等）を払拭するとともに、奥能登の地域外からも行きたくなるような場所にするという方向性も必要ではないか。
- ・新病院の建設予定地（能登空港周辺）は、人があまり住んでいない地域であり、「コミュニティ」をどう作るか（まちづくり）、という視点も必要ではないか。

＜その他＞

- ・大学としては、今後、コンセプトに沿った総合診療医を養成していきたいと考えており、若手医師の教育の面でバックアップしたい。
- ・患者としても、働く環境としても、新病院への交通の便が心配であり、現在より距離が遠くなっても通うことができる病院となるよう検討していく必要がある。

- ・今後、リハビリや検査技師など、職種ごとに話し合うことができる分科会も作ってほしい。

- (2) サテライト医療機関の医療機能に対する考えや病院職員等への説明について、4病院の現状を確認した。
- (3) 4病院の若手・中堅職員間の交流も兼ねて、先駆的な取組をしている南砺市民病院の視察を計画することとした。

以上